

市 川 市 立 宮 田 小 学 校 建 替 工 事
基 本 設 計 ・ 実 施 設 計 業 務 委 託

基 本 設 計 公 開 用 概 要 版

令和7年11月

基本方針・全体コンセプト

1. 基本構想・基本計画に示された整備方針

1-1. 学校教育目標

学び合える子どもの育成 「みんなで創ろう楽しい学校」

（目指す子ども像）

- ・みずからすすんで学ぶ子ども
- ・やさしい心で、助け合う子ども
- ・たくましく、粘り強い子ども

1-2. 学校整備コンセプト

＜Healing＞日当たりや通風に配慮した快適な環境、自然に触れる機会の創出

都心の学校でありながら、子どもたちに癒しを与える学校を計画します。

＜Gravity＞人をひきつけ、交流を生む場の創出

子ども同士の交流、子どもと地域の交流、学校と地域の連携を生み、協働的な場を創出しながらも、個別最適な学びを実現する学校を計画します。

＜Condensation＞必要な機能を効率的に配置した上で、宮田小学校らしさを創出

施設や教室の兼用、建物の高層化を行い、施設を最大限に活用するとともに、学校の歴史や地域の特性を表すデザインを取り入れるなど、地域のシンボルとなる学校を計画します。

1-3. 求められる学校像

〈教育〉

成長する子どもを育む学校

〈快適性〉

身近に自然を感じる快適な学校

〈機能性〉

衛生的で使いやすい学校

〈地域と安心〉

保護者と地域と歩む温かい学校

1-4. 社会情勢の変化を踏まえた施設整備の在り方

〈デジタルトランスフォーメーションに向けた施設整備〉

自分に適した学習スタイルを選択できる学校づくり

〈カーボンニュートラルに向けた施設整備〉

脱炭素化された施設を体感し、生きた環境学習が行える学校づくり

基本設計への反映

2. 基本構想・基本計画を踏まえた7つの設計基本方針・全体コンセプト

〈教育〉 成長する子どもを育む学校

①「主体的な学び」を育む教育空間の整備

- ・多様な活動に使える広がりあるオープンスペース
- ・学年のまとまりを大切に教室配置

〈快適性〉 身近に自然を感じる快適な学校

②温かみのある生活空間の整備

- ・温かみある内装による、過ごしやすい校舎
- ・採光・通風が良く、快適に過ごせる校舎
- ・広いグラウンドや自然を身近に感じられるビオトープの整備

〈機能性〉 衛生的で使いやすい学校

③校舎を使う誰もが快適に過ごせるウェルビーイングな環境づくり

- ・明るく清潔なトイレ・水場の整備
- ・ゆとりある広さによる可変性のある平面計画
- ・クラス増加への対応を考慮した教室配置

④将来的な児童数の変化に対応した機能的な施設整備

- ・転用を想定した施設整備（間仕切り壁の変更等により一体利用が可能）
- ・転用を想定した設備整備（出入口動線、空調・照明系統の独立化）

〈地域と安心〉 保護者と地域と歩む温かい学校

⑤災害に強く、誰もが安心して過ごせる施設整備

- ・耐震性が高く、避難所機能を強化した校舎
- ・管理が行き届きやすい防犯性の高い校舎
- ・地域開放が行いやすいゾーニングと区画設定

〈デジタルトランスフォーメーションに向けた施設整備〉 子供たちが学習スタイルを選択できる学校

⑥ICT 機器の活用を見据えた教室空間・オープンスペースの整備

- ・多様な学習スタイルに柔軟に対応する普通教室
- ・学びを支援し、多様な活動に使えるオープンスペース
- ・教科横断的な学びが行える特別教室ゾーン・メディアセンター

〈カーボンニュートラルに向けた施設整備〉 生きた環境学習が行える学校

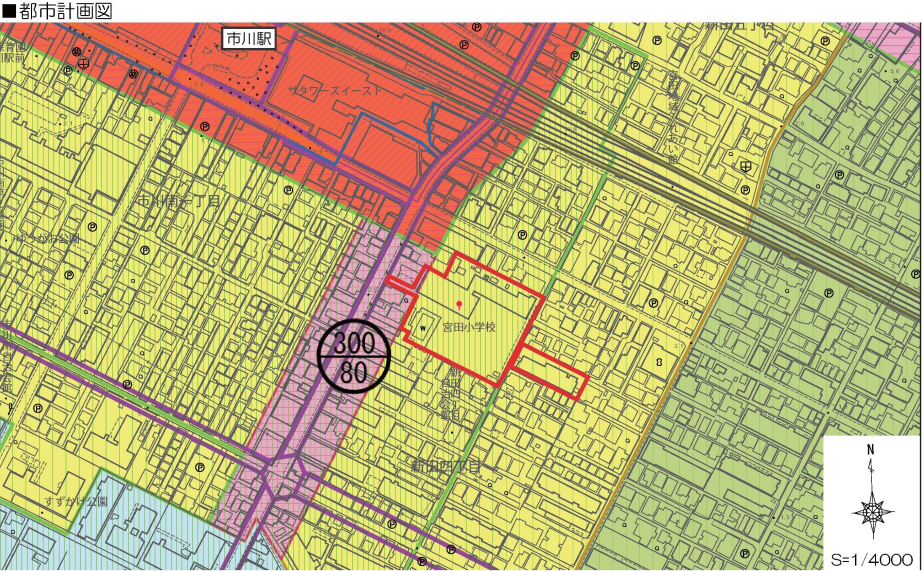
⑦学校 ZEB 化と環境教育を両立した施設整備

- ・ZEB 化を実現するパッシブデザインの校舎
- ・効果的で実績のある設備を用いた省エネルギー校舎
- ・わかりやすく自然に学べる環境学習の実現

敷地概要・計画概要

1.敷地条件

①建物名称	市川市立宮田小学校	
	西側敷地	東側敷地
②所在地	市川市新田4丁目1303番1、1304番2	
③地域地区	近隣商業地域、第1種住居地域 準防火地域、法22条指定区域 第2種高度地区 日影規制 範囲5m超：4h 範囲10m超：2.5h 測定水平面：4m	市川市新田4丁目1322番 第1種住居地域 法22条指定区域 第1種高度地区 日影規制 範囲5m超：4h 範囲10m超：2.5h 測定水平面：4m
④敷地面積	6,395.57㎡	1,018.78㎡
⑤容積率	300%、200%	200%
⑥建ぺい率	80%、60%	60%
⑦接道状況		
西側道路	市道0119号、幅員12.68m(歩道を含む) (建築基準法42条第1項第1号)	市道5073号、幅員3.21m (建築基準法42条第2項)
東側道路	市道5073号、幅員3.21m (建築基準法42条第2項)	



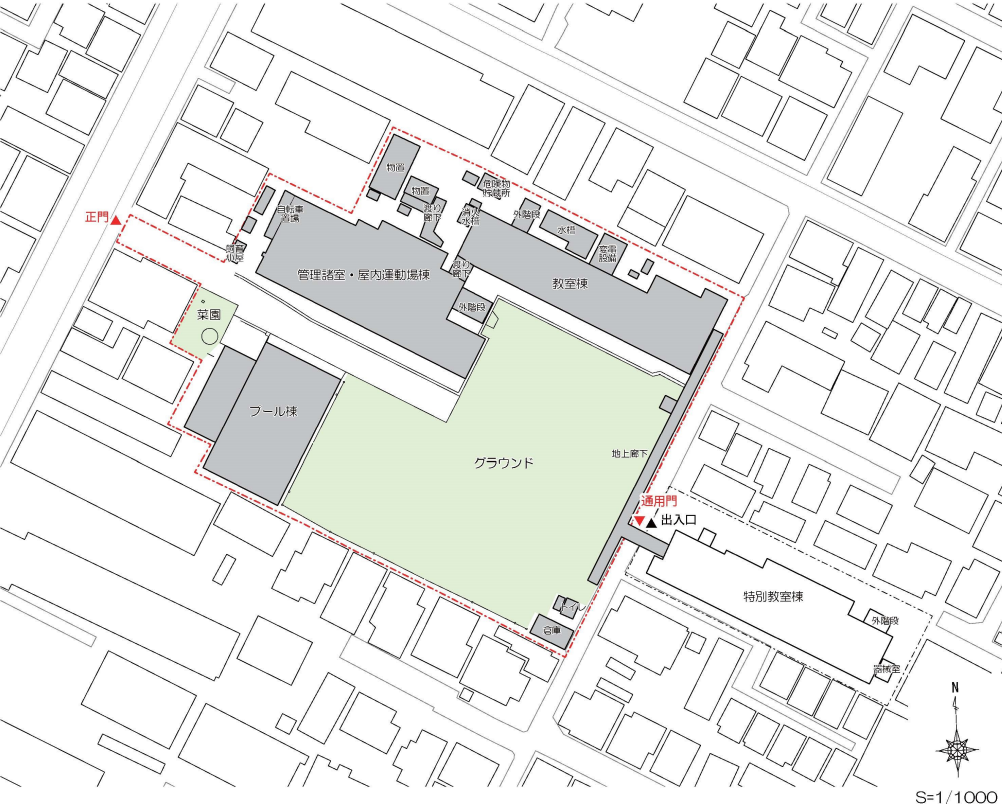
都市計画区域	名称	市川市都市計画区域
市街化・市街化調整区域	名称	市街化区域
用途地域	種類	第一種住居地域
種別	容積率(%)	200
建ぺい率(%)	建ぺい率(%)	60
高さ制限(m)	高さ制限(m)	0
高度地区	種類	第二種高度地区
地区計画区域	名称	指定なし
建築基準法第22条指定区域	名称	建築基準法第22条指定区域
建築計画区域	名称	市川市建築計画区域
日影規制区域	範囲5m超	4.0h
範囲10m超	2.5h	
測定水平面	4.0m	

第一種低層住居専用地域	容積率	第一種高度地区
第二種低層住居専用地域	建ぺい率	第二種高度地区
第一種中高層住居専用地域	防火地域	準工業地域
第二種中高層住居専用地域	準防火地域	工業専用地域
第一種住居地域	区域区分	
第二種住居地域	都市計画道路	
第三種住居地域	第一種高度地区	
近隣商業地域	第二種高度地区	
商業地域	区画整理実施区域	
準工業地域		
工業地域		
工業専用地域		

高層利用地区	風致地区	生産緑地地区
都市高速道路	地区計画区域	建築協定区域
港湾地区		

2.敷地の特徴

- ・接道は西側と東側で西側の接道は幅6m弱の通路形状で接道している。
- ・近隣建物は、西側に中高層の集合住宅や商店、東・北・南側は2階建てのアパートや個人宅となっている。
- ・敷地には管理諸室・屋内運動場棟、教室棟、プール棟が配置されている。
- ・特別教室棟がある東側の敷地は、道路を横断する渡り廊下で接続しているが、本計画敷地には含まれていない。
- ・門は西側に正門、東側に通用門があり、登下校やサービス動線は正門を使用している。通用門は、主に放課後子ども教室や保育クラブの送り迎えに使用している。



配置計画

①基本方針

日当たりや通風に配慮した快適な環境、自然に触れる機会の創出します。
都会の学校でありながら、子どもたちに癒しを与える学校を計画します。

②校舍配置

- ・校舎は工事や引越等による学校運営への影響が最も少なくなる敷地南側配置とします。
- ・敷地北側にグラウンドを計画し、校舎内への安定した自然採光の確保。敷地北側への日影等の影響を低減します。

③駐車場・駐輪場計画

- ・敷地南西側のピロティに駐車場(2台 内車椅子利用者用1台)・駐輪場を設けます。
- ・給食室のための荷捌きスペースは、敷地西側市道からのアクセスと荷捌き利用を考慮し、敷地南西側ピロティ下に配置します。

④附帯施設（屋外倉庫・屋外トイレ）

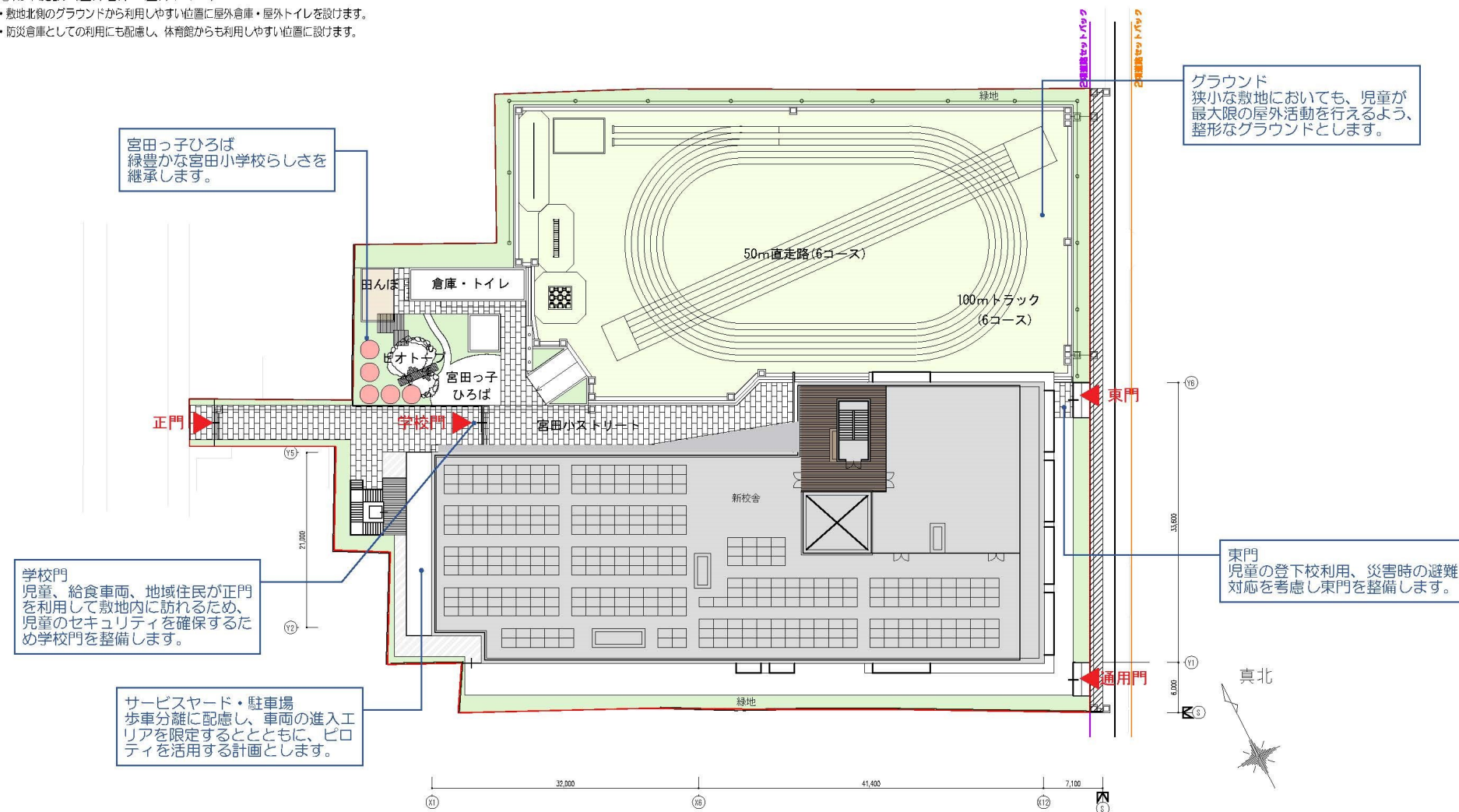
- ・敷地北側のグラウンドから利用しやすい位置に屋外倉庫・屋外トイレを設けます。
- ・防災倉庫としての利用にも配慮し、体育館からも利用しやすい位置に設けます。

⑤屋外學習環境

- ・敷地北側に整形で、既存グラウンドと同程度の面積を確保します。
- ・敷地西側に子ども達に親しみ深い既存の「室田っ子ひろば」を再整備し、田んぼとビオトープを配置します。

⑥門・アプローチ計画

- 敷地外周部に設ける門は、正門、学校門、東門、通用門の4つを整備します。
- 登下校に利用する正門と地域門をつなぐアプローチを設け、各門から校舎（昇降口）にアクセスしやすい計画とします。



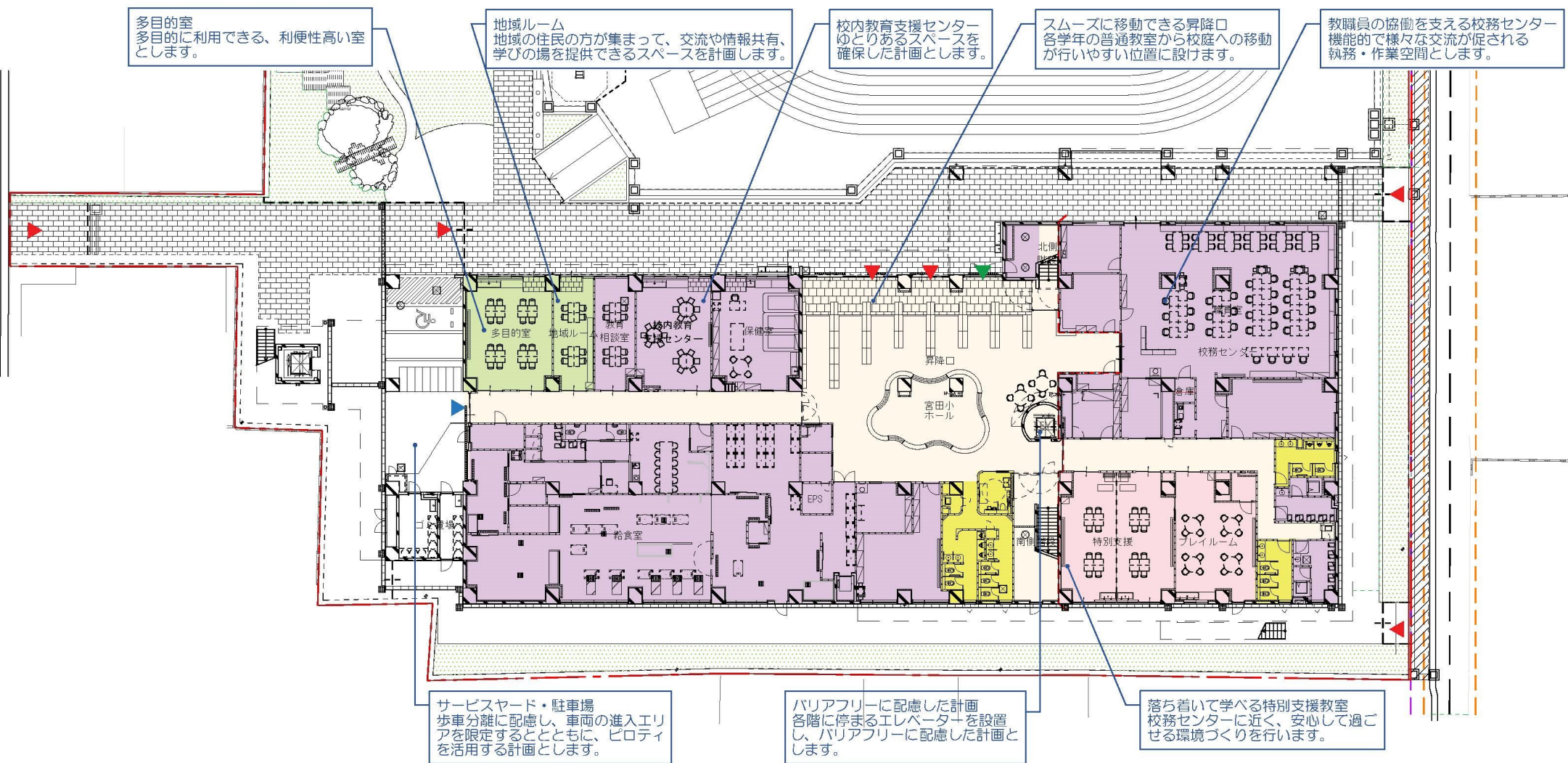
平面計画

□1階平面図

- ・校舎棟1階には管理諸室・給食室・特別支援教室・多目的室・地域ルームを配置します。
- ・職員室・校長室・事務室・印刷室・応接室などを集約して校務センターとします。
- ・特別支援教室は建物の南東側に配置し、人通りの少ない落ち着いた環境が確保できる環境とします。

凡例

- | | | | |
|----------|---------|------|----------|
| 普通教室 | 屋内運動場 | 共用諸室 | 児童出入口 |
| 特別教室 | 管理諸室 | | 地域・来客出入口 |
| 放課後保育クラブ | 地域ふれあい館 | | 車両からの搬入口 |
| | | | 放課後保育クラブ |
| | | | 放課後子ども教室 |



※机等の配置はイメージです

平面計画

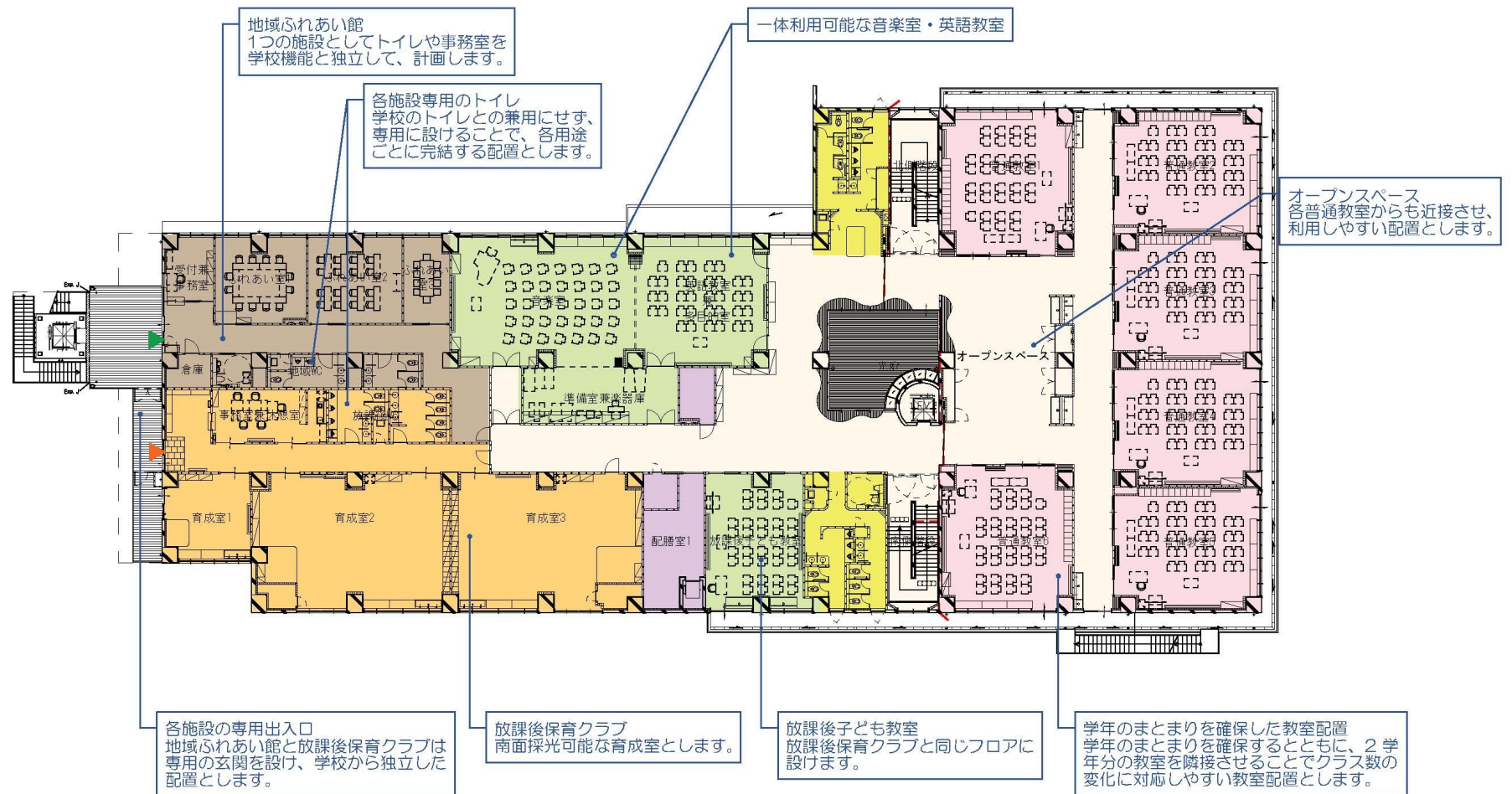
□2階平面図

- ・2階には東側に1・2年生の普通教室、中央に特別教室等、西側には地域ふれあい館と放課後子ども教室を配置します。
- ・普通教室と連続して「オープンスペース」を設け、学年が集まれる広さを確保することで、多様な学習・生活・交流活動を促します。

凡例

普通教室	屋内運動場	共用諸室
特別教室	管理諸室	
放課後保育クラブ	地域ふれあい館	

- ▲ 児童出入口
- ▲ 地域・来客出入口
- ▲ 車両からの搬入口
- ▲ 放課後保育クラブ
- ▲ 放課後子ども教室



※机等の配置はイメージです

平面計画

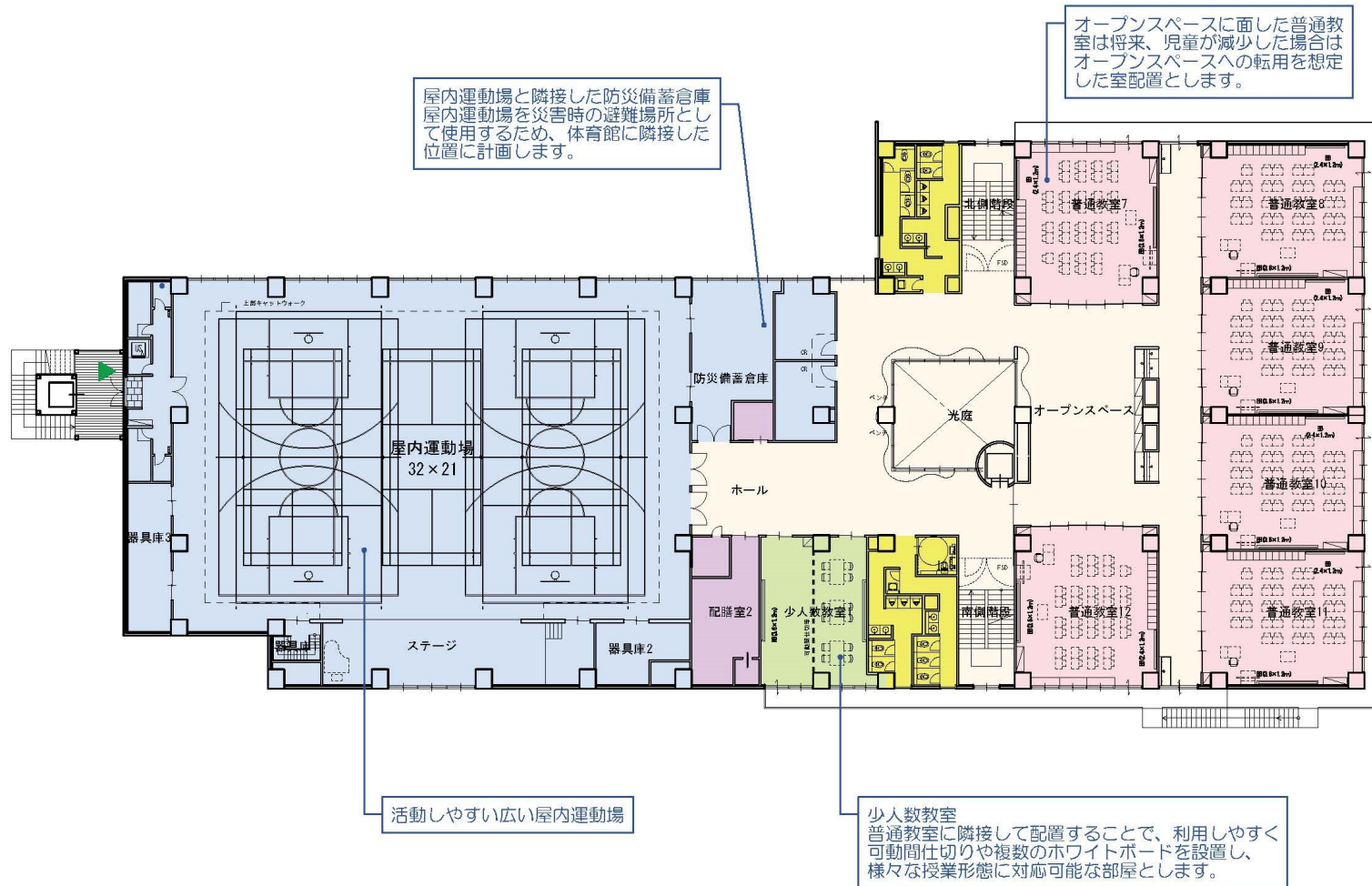
□3階平面図

- 3階には、3・4年生の普通教室と、市川市の高潮浸水想定区域（想定最大規模）及び地域利用を考慮し3階西側に屋内運動場を設けます。
- オープンスペースは吹抜と隣接することで、明るく開放的な計画とします。
- 屋内運動場に隣接して防災倉庫を配置することで、災害時の拠点としてスムーズに利用できる計画とします。

凡例

普通教室	屋内運動場	共用諸室
特別教室	管理諸室	
放課後保育クラブ	地域ふれあい館	

- 児童出入口
- 地域・来客出入口
- 車両からの搬入口
- 放課後保育クラブ
- 放課後子ども教室



※机等の配置はイメージです

平面計画

□4階平面図

- ・4階には、5・6年生の普通教室・日本語教室兼多目的教室を配置します。
- ・日本語教室は多目的教室と兼用にすることで、さまざまな授業形態に対応可能な部屋とします。

凡例

普通教室	屋内運動場	共用諸室
特別教室	管理諸室	
放課後保育クラブ	地域ふれあい館	

- ▲ 児童出入口
- ▲ 地域・来客出入口
- ▲ 車両からの搬入口
- ▲ 放課後保育クラブ
- ▲ 放課後子ども教室



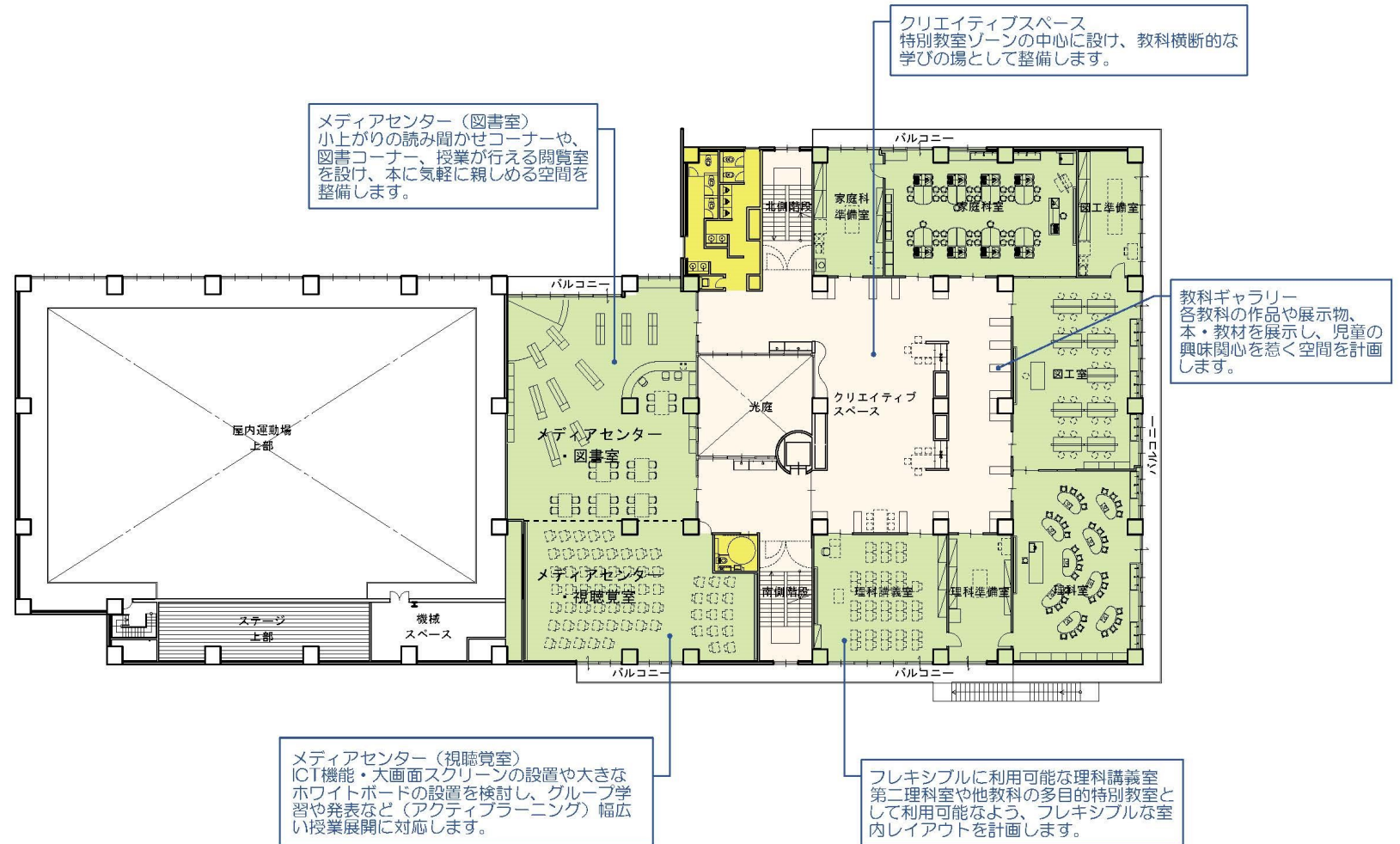
※机等の配置はイメージです

平面計画

□5階平面図

- ・5階にはメディアセンター・各種特別教室を配置します。
- ・特別教室前の廊下やクリエイティブスペースには、各教科に関する各教科の作品や展示物、本・教材を展示し、児童の興味関心を惹く空間を計画します。
- ・メディアセンターは、ICT設備や本を充実させるとともに、図書室と視聴覚室を組み合わせた教科横断的な学びの拠点として計画します。

凡例				
普通教室	屋内運動場	共用諸室	児童出入口	
特別教室	管理諸室		地域・来客出入口	
放課後保育クラブ	地域ふれあい館		車両からの搬入口	
			放課後保育クラブ	
			放課後子ども教室	



※机等の配置はイメージです

立面計画

①基本方針

- 1.〈Healing〉日当たりや通風に配慮した快適な環境、自然に触れる機会の創出
温かみのある木質系の材料、アースカラーをベースとした色彩計画とします。
- 2.〈Gravity〉人をひきつけ、交流を生む場の創出
内部の活動が表出するデザインとします。
- 3.〈Condensation〉必要な機能を効率的に配置した上で、宮田小学校らしさを創出
壁面の分節化等を行い大きな壁に見えないデザインとします。また、複合施設となるため地域のランドマークとなるデザインとします。



南側立面図



東側立面図



北側立面図



西側立面図

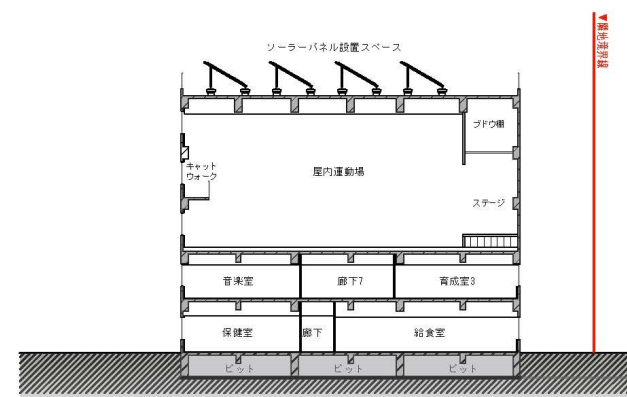
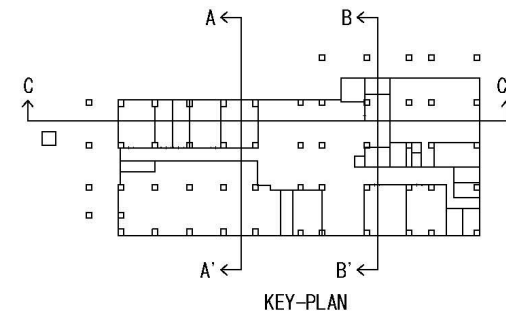
断面計画

①基本方針

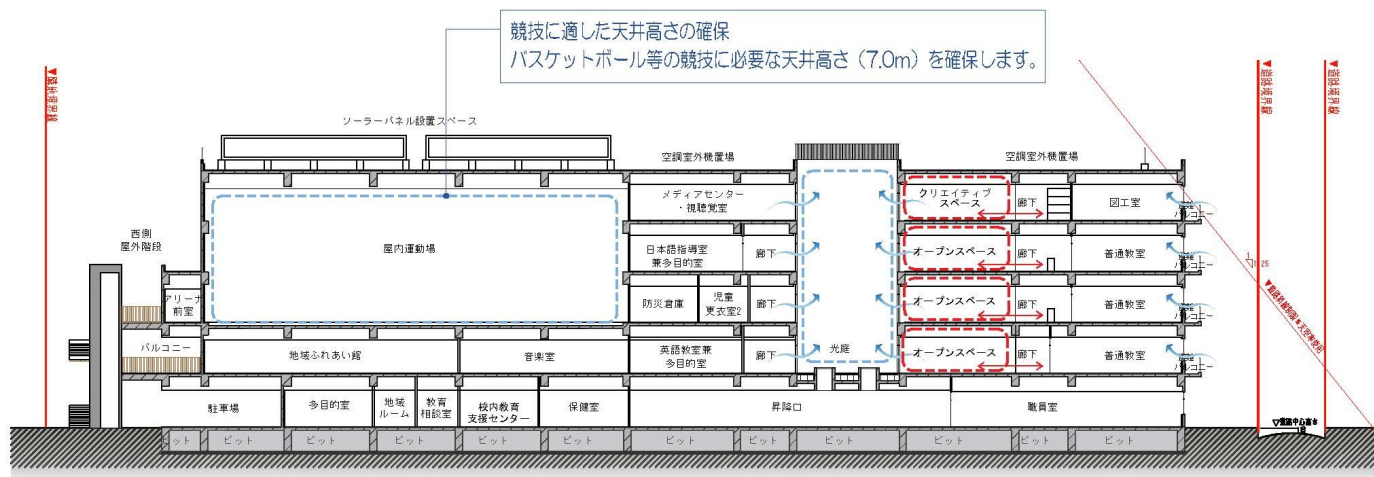
- ・狭小な敷地の中で計画するため、5階建てとします。
- ・2～4階に普通教室、5階に特別教室を配置します。市川市の高潮浸水想定区域（想定最大規模）を考慮し、3階に屋内運動場を設けます。
- ②建物高さ及び階高の設定
- ・建物高さは無理のない範囲で抑えることにより、建物北側のグラウンドや近隣住宅への日影の影響に配慮した計画とします。
- ・天空率を使用し、敷地東側からの道路斜線制限の緩和します。
- ・各階の天井高さを2.7mに設定し、上階に体育館がある一部部屋は2.5mとします。
- ・屋内運動場は、バスケットボールといった競技の一般利用に必要な高さ（7.0m）を考慮し、（有効）8.0m程度を確保可能な階高とします。

③諸室の断面構成

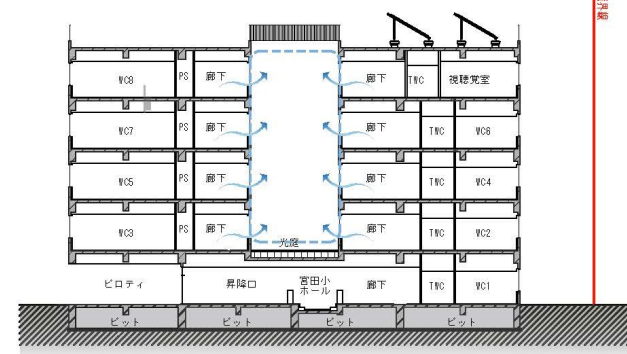
- ・建物中央に光庭を設け、オープンスペースと廊下の通風・採光を確保します。



A-A' 断面図



C-C' 断面図



B-B' 断面図

内外装仕上計画

1.外装計画

①基本方針

- ・市川市景観計画を遵守し、地域と調和したデザインとします。
- ・小学校、放課後保育クラブ、放課後子ども教室、地域ふれあい館の複合施設となるため、児童以外の利用者にも配慮し、地域のランドマークとなる外観デザインとします。
- ・再生材料や再生可能な材料など、環境に配慮した材料の使用を検討します。
- ・環境負荷低減を目指し、出来る限り熱貫流率の低い材料を使用する計画とします。
(複層ガラス、屋根断熱、外壁断熱等)

②親しみと安心感のある外観

- ・外装には、メンテナンス性に配慮しながら木質系の材料の採用を検討し、温もりのある、親しみやすい建物とします。
- ・住宅地に建つ学校として、圧迫感の軽減、高さ方向への意識の低減を図るデザインとします。また、立面に変化を与えることで長大な壁面による圧迫感の低減を図ります。

③機能性に配慮した外装

- ・コンクリート塗装面は防水形複層塗材E、コンクリート打放面はアクリルシリコンクリア塗装、押出成型セメント板はフッ素樹脂塗装の採用を検討し、材質に合わせた耐候性の高い材料を選定します。
- ・過度なデザインや金属仕上げを用いないことで、維持管理しやすくコストバランスに優れた外観デザインとします。



01：防水形複層塗材



02：再生木手摺



03：コンクリート打放し



04：鉄製手摺



05：木ルーバー天井



06：リサイクルウッドデッキ



07：太陽光発電パネル



08：インターロッキングブロック舗装

2.内装計画

①木の温もりが感じられる空間

- ・床材や腰壁に限らない空間全体に気配りした木材を使用することにより、手触りや視覚的にも配慮した計画とします。
- ・普通教室や特別支援室、メディアセンター等の特別教室の床材は、日常から木の温もりが感じられるよう、タイルシートを基本とします。
- ・昇降口やホールに、木材を利用した天井材を積極的に採用し、木の温もりを大切に空間づくりを行います。
- ・木材を使用する箇所には、千葉県産木材等の県産品の活用を検討します。
- ・屋外に使用するデッキ材はメンテナンス性に配慮し、風化しても変色、割れが起きない『耐水性』『耐候性』に優れたリサイクル木材を使用します。



01：昇降口



02：普通教室



03：ホール(学年ラウンジ)



04：多目的室(光庭)

②機能を重視した仕上げ

- ・理科室や図工室、準備室、トイレなどの、水を使う部屋や清掃性を重視する必要がある部屋の床材はビニルシートとします。
- ・校務センターはOAフロアとし、執務機のレイアウト変更等に対応した計画とします。
- ・天井材は基本的に、吸音性を重視した材料を選択します。



05：教科ギャラリー



06：メディアセンター



07：視聴覚室(メディア・ラーニング室)



08：体育館

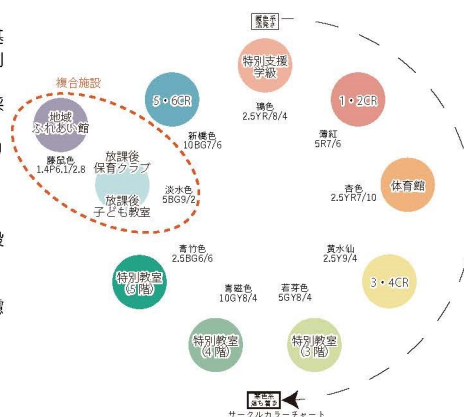
3.色彩計画

①内部の色彩計画

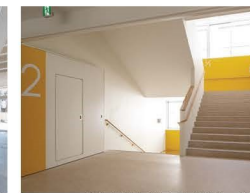
- ・内部の色彩は清潔感があり、児童の作品や活動が映えるように「白」もしくは「コンクリート打放」等の無彩色系を基調とし、バランスよく木材を配した計画とします。さらに、アクセント色には日本の伝統色を採用し学習教材として利用できる計画とするとともに、豊かな内部空間を演出します。
- ・暖色系は「活発さ」、寒色系は「落ち着き」等の、色のもつイメージを活かして、ブロックやゾーンを意識した色を採用し、訪れる人たちにわかりやすい色彩計画を行います。
- ・児童が通常使用しない空間は、モノトーンなど落ち着いた色調の材料を用いることで、学校内でもメリハリをつけた色彩計画とします。

②内部のサイン計画

- ・わかりやすい配置及び大きさのサインを設置し、児童や教職員はもとより、授業参観等で訪れる保護者や来校者が施設を使いやすいサインとします。
- ・昇降口や地域玄関に総合案内を設け、各階の縦動線付近にフロア案内を設けます。
- ・階段などの主要な縦動線や、トイレは廊下から認識しやすい色彩計画・サイン計画を行い、施設の利用しやすさに配慮します。



01：総合案内サイン



02：階段のフロア案内・色彩



03：ゾーンを意識したサイン・色彩1



04：ゾーンを意識したサイン・色彩2

□機械に頼らない自然の力を活用した施設づくり

- ## □省エネ技術の活用と環境教材

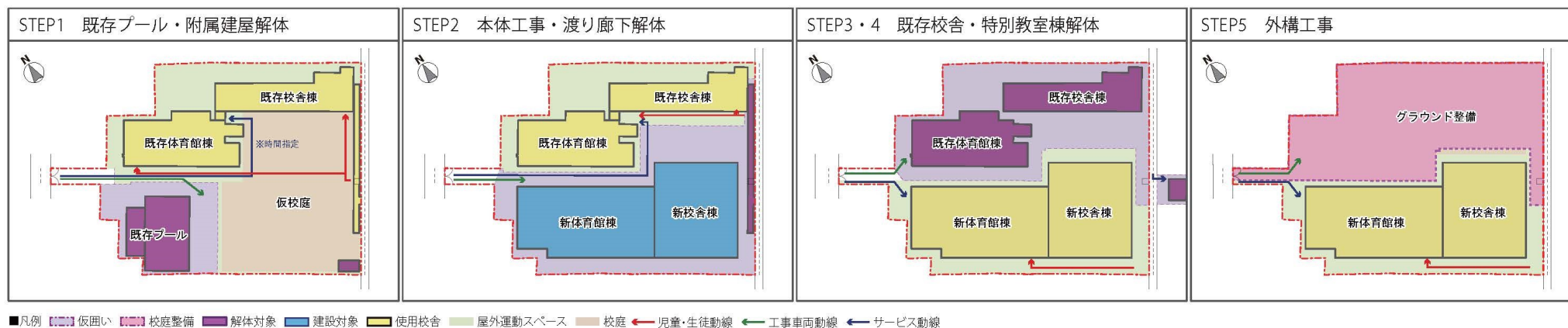
- 12

全体工程表・工事ステップ図

1 工程表

年	2026（令和8年）												2027（令和9年）												2028（令和10年）												2029（令和11年）												2030（令和12年）												2031（令和13年）											
年度	令和8年度												令和9年度												令和10年度												令和11年度												令和12年度												令和13年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2													
ステップ	STEP1												STEP2												STEP3												STEP4												STEP5																							
月数	①②③④⑤												①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚												①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚												①②③④⑤⑥⑦⑧⑨																																			
解体工事	既存プール・附属建屋解体																								既存校舎・特別教室棟解体																																															
改築工事	本体工事・渡り廊下解体																								引越												供用開始												外構工事（グラウンド整備）												供用開始											
プール	既存プール												民間のプール利用												民間のプール利用												民間のプール利用												民間のプール利用												民間のプール利用											
屋外運動スペース	大洲小学校のグラウンド利用																																																												新グラウンド利用											

2 工事ステップ図



イメージパース



鳥瞰パース

イメージパース



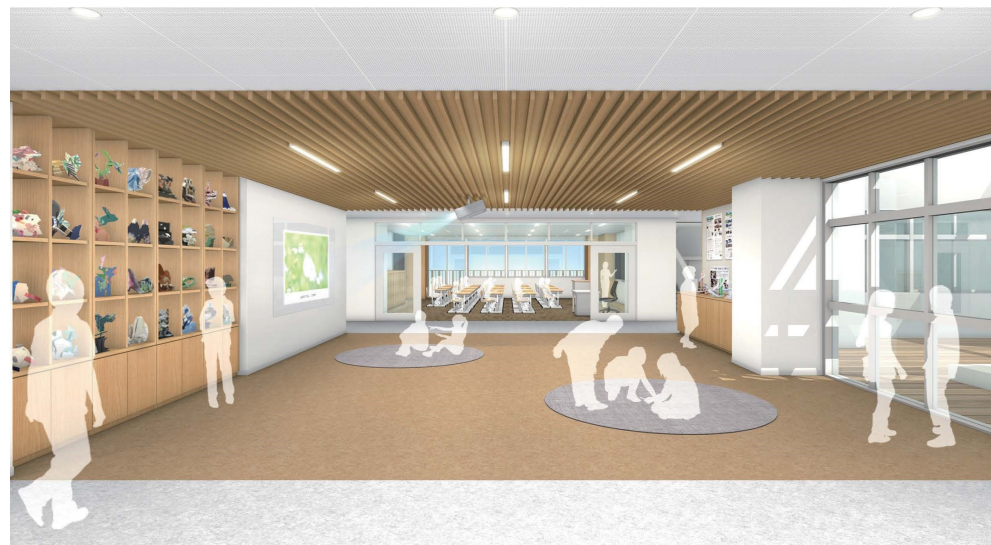
北面アイレベルパース



アプローチ アイレベルパース



内観パース（図書室）



内観パース（ホール）